

報道関係者各位

株式会社 博展
2021年2月24日

<企業のサステナブル活動の促進へ>
SDGs に貢献する企業ブランド調査結果を発表、1位はトヨタ
 ～生活者のアンケート結果から、総合TOP50と17業種別のTOP5を初公開～

株式会社 博展（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田口徳久、以下「当社」）は、主催する「サステナブル・ブランド国際会議 2021 横浜（以下、「SB 横浜」）」内にて、生活者のSDGs（持続可能な開発目標）に対する企業ブランド調査『Japan Sustainable Brands Index（以下、「JSBI」）』のランキング結果を発表。調査対象企業 180社から、TOP50と17業種別のTOP5を公開いたしました。

JSBIでは、企業のサステナビリティに対する活動を更に促進することを目的に、日本国内に展開する企業ブランド180社について、18歳-79歳の男女の9,000回答サンプルをもとに、企業の取り組みや商品、及びブランドのサステナブル価値を評価指数化いたしました。

調査結果が詳細に記載されているレポート（速報版）はこちらからダウンロードください。

https://www.sustainablebrands.jp/event/sb2021/JSBI_Report_Ver-1.0.pdf

<調査結果概要>

総合1位は「トヨタ」、SDGs 貢献イメージ、SDGs 評価得点でも1位を獲得。
業種別傾向は、「素材・化学・機械」「薬品・医療用品」「家電・AV機器」のメーカー系が高評価。

■ JSBI TOP20 企業（SDGs 貢献イメージ得点+SDGs 評価得点）※21～50位はP3に表記

順位	企業名	得点	順位	企業名	得点
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	112.86	11	パナソニック(Panasonic)	105.76
2	良品計画(無印良品)	108.76	12	サントリー(SUNTORY)	105.59
3	味の素(AJINOMOTO)	108.74	13	イオン(AEON)	105.59
4	日立製作所(HITACHI)	108.60	14	キューピー	105.41
5	住友林業	108.09	15	クボタ(Kubota)	105.38
6	ライオン(LION)	106.89	16	東京ガス(TOKYO GAS)	105.36
7	ファーストリテイリング(ユニクロ)	106.62	17	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	105.23
8	ハウス食品(House)	106.16	18	セブン&アイ・ホールディングス (イトーヨーカ堂)	105.22
9	富士フイルム(FUJIFILM)	105.96	19	森永乳業(morinaga)	104.95
10	TOTO	105.92	20	王子ホールディングス(ネピア他)	104.86

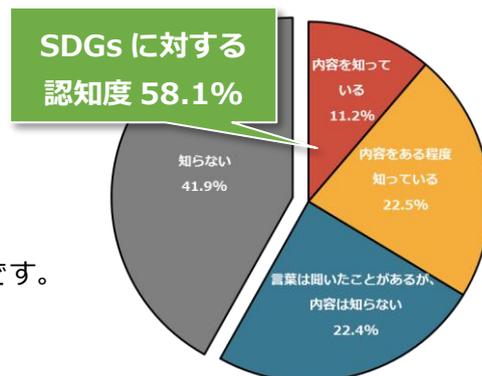
トヨタ自動車 (TOYOTA) が 112.86 という圧倒的な高評価を得ました。2位 良品計画（無印良品）、3位 味の素 (AJINOMOTO)、4位 日立製作所 (HITACHI)、5位 住友林業という結果となりました。

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

■ JSBI : Japan Sustainable Brands Index について

SDGs やサステナビリティ活動に対して、関心の高い生活者の視点を重視し、彼らのSDGs や各企業のサステナビリティ活動への認識が、実際の行動（購買や推奨など）にどのような影響を及ぼすのかを分析している点が、JSBI の特徴です。

右グラフは、JSBI における SDGs の認知度に関する調査結果です。SDGs に対する認知がある対象者の回答を重視するように調査結果は構成されています。



<本件に関するお問い合わせ先>

取材について：株式会社博展 村松（むらまつ） Mail：sb-press@hakuten.co.jp
 個々の企業の詳細調査結果について：サステナブル ブランド ジャパン Mail：info@sustainablebrands.jp

■ 業種別の傾向

分析対象の 180 社を 17 の業種に分類し、各業種の特徴の分析した結果です。

	企業数	平均得点		企業数	平均得点
素材・化学・機械	9	103.39	自動車・関連品	9	100.49
薬品・医療用品	6	103.11	流通（小売）	14	100.45
家電・AV機器	8	103.03	ファッション・アクセサリ	13	100.09
食品	11	102.30	交通・レジャー	14	98.82
化粧品・トイレタリ	10	101.71	出版・教育・印刷	5	98.47
エネルギー	7	101.01	IT・情報・通信	11	98.31
不動産・建設・住宅設備	14	100.56	外食・各種サービス	7	97.90
精密機器・事務用品	14	100.54	金融・保険	18	94.58
飲料・嗜好品	10	100.49	計	180	100.31

＜評価の高い業種＞ ※上位の中でも全ての企業が 100 点を超えた業種

・ 素材・化学・機械

9 社全てが得点は 100 を超え、順位は最高位 15 位、最低位 81 位と総じて評価が高いという結果。業種内格差は小さくなっています。

・ 薬品・医療用品

6 社全てが得点は 100 を超え、順位も最高位 33 位、最低位 64 位と総じて評価が高いという結果。業種内格差は最も小さくなっています。

■ 今後の展開について

SDGs への認知度は 2018 年 1 月には 9.3%でしたが、今回の調査（2020 年 12 月実施）では 58.1%へと大きく伸長しました。

今後もさらに企業の SDGs 活動に対しての生活者の関心が高まり、それらが実際の行動（購買や推奨など）に影響を及ぼしていくことが予想されます。そのような生活者マインドの変化に対して、企業にとってもより SDGs に重きをおいたマーケティングやコミュニケーション活動の重要性が増していくことが考えられます。

今回は試行調査として企業数を 180 社に限定し、実施しました。

今後は、調査対象社数を増やし、さらに調査手法を再考しながら、経年的に調査を続けることで、JSBI を有用な指標として確立し、企業のサステナビリティに対する活動の促進に貢献してまいります。

※右グラフ引用：2018 年 1 月、2020 年 1 月はサステナブル ブランド ジャパンと（株）インテージの調査、2020 年 12 月はサステナブル ブランド ジャパンの調査より。

SDGsの認知度の経年変化



【JSBI 調査方法について】

■ 調査方法：インターネット調査

※回答者は、ランダムにグループ分けされた 6 つの企業（対象企業社数計 180 社）について、それぞれ 30 問の設問に回答。

■ 調査対象者：18 歳-79 歳の男女

※スクリーニング調査で「対象企業を知らない」と回答した人を除外して本調査を実施。

■ 調査地域：全国 47 都道府県

■ 調査方法：インターネット調査

■ 調査期間：2020 年 12 月 2 日～12 月 25 日

■ 回収数：9,000 サンプル

■ 調査実施者：サステナブル ブランド ジャパン（株式会社 博展）

＜調査結果の構成イメージ＞



■ JSBI 21～50位 (SDGs 貢献イメージ得点+SDGs 評価得点)

順位	企業名	得点	順位	企業名	得点
21	ヤクルト本社(Yakult)	104.82	36	アップルジャパン(Apple)	103.64
22	旭化成(AsahiKASEI)	104.74	37	ユニ・チャーム(unicharm)	103.56
23	ダイキン工業(DAIKIN)	104.70	38	ジョンソン・エンド・ジョンソン	103.54
24	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	104.65	39	大塚製薬(Otsuka)	103.53
25	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	104.45	40	リクシル(LIXIL)	103.52
26	オムロン(OMRON)	104.26	41	西日本旅客鉄道(JR西日本)	103.51
27	東日本高速道路(NEXCO東日本)	104.25	42	日清食品(NISSIN)	103.46
28	積水化学工業(SEKISUI)	104.09	43	ソニー(SONY)	103.19
29	生協(Co-op)	104.08	44	日本マイクロソフト(Microsoft)	103.13
30	カゴメ(KAGOME)	104.05	45	日本製紙(クリネックス他)	103.10
31	NEC(日本電気)	103.89	46	花王(Kao)	103.05
32	グーグル(google)	103.84	47	ファンケル(FANCL)	103.04
33	ロート製薬(ROHTO)	103.83	48	全日本空輸(ANA)	102.96
34	ダスキン(DUSKIN)	103.76	49	ネスレ(Nestle)	102.91
35	京セラ(KYOCERA)	103.71	50	麒麟ビール(KIRIN)	102.90

【調査プロジェクトチーム】

- 調査実施者：サステナブル ブランド ジャパン（株式会社 博展）
- 監修：青木茂樹（駒澤大学経営学部教授、サステナブル ブランド ジャパン アカデミックプロデューサー）
- 調査設計：江戸克栄（県立広島大学大学院教授）
- 調査設計補佐：落原大治（法政大学大学院院生）
- CSR アドバイザー：小山巖也（関東学院大学教授）
- 報告書作成：矢崎陽子（山梨学院大学非常勤講師）

▼ 株式会社 博展

代表者 代表取締役社長 田口 徳久

所在地 〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-14 NBF 東銀座スクエア 9 階

設立 1970年3月

事業内容 「Communication Design®」の提供を通じて、人と人が出会う“場”と、そこで生みだされる感動や経験の“体験”をより価値あるものにするために、企業のマーケティング活動に感動や経験という体験価値を提供するパートナーとして、「Experience Marketing」を事業領域とした、コンタクトポイントにおけるコミュニケーション開発及び統合型マーケティングソリューションの提供を行っています。

公式サイト コーポレートサイト

<https://www.hakuten.co.jp/>

クリエイティブサイト

<https://www.hakuten.co.jp/content/creative/>

サステナブル・ブランド ジャパン

<https://www.sustainablebrands.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

取材について：株式会社博展 村松（むらまつ） Mail：sb-press@hakuten.co.jp
 個々の企業の詳細調査結果について：サステナブル ブランド ジャパン Mail：info@sustainablebrands.jp

(参考データ)

<17 業種別 TOP5>

1. エネルギー

企業名	得点	全体 順位
1 東京ガス(TOKYO GAS)	105.36	16
2 関西電力	101.20	74
3 大阪ガス	100.67	83
4 コスモ石油	100.24	90
5 出光昭和シェル	100.14	93
平均値	101.01	
最高値	105.36	16
最低値	99.46	102
業界内ギャップ (最高値-最低値)	5.90	

3. ファッション・アクセサリ

企業名	得点	全体 順位
1 ファーストリテイリング(ユニクロ)	106.62	7
2 パタゴニア(patagonia)	102.82	53
3 モンベル(mont-bell)	102.79	54
4 スノーピーク(snow peak)	102.35	59
5 アディダスジャパン(adidas)	101.72	65
平均値	100.09	
最高値	106.62	7
最低値	94.92	161
業界内ギャップ (最高値-最低値)	11.70	

5. 化粧品・トイレタリー

企業名	得点	全体 順位
1 ライオン(LION)	106.89	6
2 ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	105.23	17
3 花王(Kao)	103.05	46
4 ファンケル(FANCL)	103.04	47
5 ラッシュジャパン(LUSH)	102.85	52
平均値	101.71	
最高値	106.89	6
最低値	97.51	129
業界内ギャップ (最高値-最低値)	9.38	

2. 金融・保険

企業名	得点	全体 順位
1 東京海上日動	99.43	103
2 損害保険ジャパン	98.98	109
3 オリックス(ORIX)	97.78	126
4 第一生命	96.00	151
5 三井住友銀行(SMBC)	95.93	153
平均値	94.58	
最高値	99.43	103
最低値	86.51	180
業界内ギャップ (最高値-最低値)	12.92	

4. 飲料・嗜好品

企業名	得点	全体 順位
1 サントリー(SUNTORY)	105.59	12
2 森永乳業(morinaga)	104.95	19
3 ネスレ(Nestle)	102.91	49
4 キリンビール(KIRIN)	102.90	50
5 日本コカ・コーラ	101.47	68
平均値	100.49	
最高値	105.59	12
最低値	96.36	147
業界内ギャップ (最高値-最低値)	9.23	

6. 家電・AV機器

企業名	得点	全体 順位
1 日立製作所(HITACHI)	108.60	4
2 パナソニック(Panasonic)	105.76	11
3 ダイキン工業(DAIKIN)	104.70	23
4 ソニー(SONY)	103.19	43
5 ダイソン(dyson)	101.37	70
平均値	103.03	
最高値	108.60	4
最低値	99.28	106
業界内ギャップ (最高値-最低値)	9.32	

7. 外食・各種サービス

企業名	得点	全体 順位
1 スターバックスジャパン(STARBUCKS)	104.45	25
2 ダスキン(DUSKIN)	103.76	34
3 モスフードサービス(モスバーガー)	101.13	77
4 日本マクドナルド	100.28	88
5 ヤマト運輸	96.47	143
平均値	97.90	
最高値	104.45	25
最低値	89.00	178
業界内ギャップ(最高値-最低値)	15.45	

9. 自動車・関連品

企業名	得点	全体 順位
1 トヨタ自動車(TOYOTA)	112.86	1
2 テスラ(Tesla)	102.58	56
3 日産自動車(NISSAN)	102.41	58
4 ホンダ(HONDA)	101.13	76
5 ブリヂストン(BRIDGESTONE)	100.58	84
平均値	100.49	
最高値	112.86	1
最低値	92.07	174
業界内ギャップ(最高値-最低値)	20.80	

11. IT・情報・通信

企業名	得点	全体 順位
1 グーグル(google)	103.84	32
2 日本マイクロソフト(Microsoft)	103.13	44
3 富士通(FUJITSU)	99.69	97
4 セールスフォース・ドットコ(salesforce)	99.57	98
5 日本アイ・ピー・エム(I B M)	98.81	113
平均値	98.31	
最高値	103.84	32
最低値	94.80	163
業界内ギャップ(最高値-最低値)	9.04	

8. 交通・レジャー

企業名	得点	全体 順位
1 東日本高速道路(NEXCO東日本)	104.25	27
2 西日本旅客鉄道(JR西日本)	103.51	41
3 全日本空輸(A N A)	102.96	48
4 小田急電鉄(odakyu)	101.21	73
5 オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	101.05	78
平均値	98.82	
最高値	104.25	27
最低値	89.80	177
業界内ギャップ(最高値-最低値)	14.44	

10. 出版・教育・印刷

企業名	得点	全体 順位
1 ベネッセホールディングス(Benesse)	100.55	85
2 学研ホールディングス(Gakken)	99.50	100
3 凸版印刷	99.14	108
4 リクルートホールディングス	96.70	138
5 大日本印刷	96.47	142
平均値	98.47	
最高値	100.55	85
最低値	96.47	142
業界内ギャップ(最高値-最低値)	4.07	

12. 食品

企業名	得点	全体 順位
1 味の素(AJINOMOTO)	108.74	3
2 ハウス食品(House)	106.16	8
3 キユーピー	105.41	14
4 ヤクルト本社(Yakult)	104.82	21
5 カゴメ(KAGOME)	104.05	30
平均値	102.30	
最高値	108.74	3
最低値	96.44	145
業界内ギャップ(最高値-最低値)	12.30	

1 3. 精密機器・事務用品

企業名	得点	全体 順位
1 富士フイルム(FUJIFILM)	105.96	9
2 オムロン(OMRON)	104.26	26
3 N E C(日本電気)	103.89	31
4 京セラ(KYOCERA)	103.71	35
5 アップルジャパン(Apple)	103.64	36
平均値	100.54	
最高値	105.96	9
最低値	96.19	149
業界内ギャップ(最高値-最低値)	9.77	

1 5. 不動産・建設・住宅設備

企業名	得点	全体 順位
1 住友林業	108.09	5
2 T O T O	105.92	10
3 積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	104.65	24
4 リクシル(LIXIL)	103.52	40
5 大和ハウス工業(Daiwa House)	102.77	55
平均値	100.56	
最高値	108.09	5
最低値	92.44	173
業界内ギャップ(最高値-最低値)	15.65	

1 7. 流通(小売)

企業名	得点	全体 順位
1 良品計画(無印良品)	108.76	2
2 イオン(AEON)	105.59	13
3 セブン&アイ・ホールディングス(イトーヨーカ堂)	105.22	18
4 生協(Co-op)	104.08	29
5 イケア(IKEA)	102.02	62
平均値	100.45	
最高値	108.76	2
最低値	91.50	175
業界内ギャップ(最高値-最低値)	17.26	

1 4. 素材・化学・機械

企業名	得点	全体 順位
1 クボタ(Kubota)	105.38	15
2 王子ホールディングス(ネピア他)	104.86	20
3 旭化成(AsahiKASEI)	104.74	22
4 積水化学工業(SEKISUI)	104.09	28
5 日本製紙(クリネックス他)	103.10	45
平均値	103.39	
最高値	105.38	15
最低値	100.73	81
業界内ギャップ(最高値-最低値)	4.65	

1 6. 薬品・医療用品

企業名	得点	全体 順位
1 ロート製薬(ROHTO)	103.83	33
2 ユニ・チャーム(unicharm)	103.56	37
3 ジョンソン・エンド・ジョンソン	103.54	38
4 大塚製薬(Otsuka)	103.53	39
5 エーザイ(Eisai)	102.45	57
平均値	103.11	
最高値	103.83	33
最低値	101.73	64
業界内ギャップ(最高値-最低値)	2.10	

■SDGs 貢献イメージ得点 TOP20 企業 (SDGs 貢献度を基準化し算出)

SDGs に貢献しているイメージがあるかを 100 点満点で評価。調査対象が「SDGs に貢献していそう
だ」というイメージを持っている企業が高い得点を得る傾向にあります。

順位	企業名	得点	順位	企業名	得点
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	56.78	11	住友林業	53.25
2	味の素(AJINOMOTO)	55.66	12	森永乳業(morinaga)	53.12
3	良品計画(無印良品)	55.63	13	ネスレ(Nestle)	52.98
4	ファーストリテイリング(ユニクロ)	54.98	14	セブン&アイ・ホールディングス(イトーヨーカ堂)	52.89
5	ライオン(LION)	54.49	15	ダイキン工業(DAIKIN)	52.87
6	富士フイルム(FUJIFILM)	53.79	16	ハウス食品(House)	52.86
7	TOTO	53.60	17	積水化学工業(SEKISUI)	52.79
8	キューピー	53.53	18	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	52.76
9	日立製作所(HITACHI)	53.33	19	パナソニック(Panasonic)	52.71
10	サントリー(SUNTORY)	53.32	20	クボタ(Kubota)	52.66

※21～50 位は別紙レポート資料（速報版）を参照ください。

■SDGs 評価得点 TOP20 企業 (SDGs 重要度×SDGs 企業評価を基準化し算出)

SDGs の 17 目標について、企業が取り組むことが重要かを測る「SDGs 重要度」と、実際に各企業がこれらの目標に取り組んでいると思うかを測る「SDGs 企業評価」を基準化。**SDGs に対する具体的な活動内容が認知されている企業が高い得点を得ています。**

順位	企業名	得点	順位	企業名	得点
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	56.09	11	良品計画(無印良品)	53.13
2	日立製作所(HITACHI)	55.27	12	旭化成(AsahiKASEI)	53.09
3	住友林業	54.84	13	味の素(AJINOMOTO)	53.08
4	大和ハウス工業(Daiwa House)	53.98	14	パナソニック(Panasonic)	53.05
5	東京電力(TEPCO)	53.73	15	東日本高速道路(NEXCO東日本)	52.91
6	東京ガス(TOKYO GAS)	53.61	16	王子ホールディングス(ネピア他)	52.88
7	イオン(AEON)	53.58	17	クボタ(Kubota)	52.72
8	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	53.47	18	ユニ・チャーム(unicharm)	52.55
9	ヤクルト本社(Yakult)	53.34	19	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	52.46
10	ハウス食品(House)	53.30	20	ライオン(LION)	52.40

※21～50 位は別紙レポート資料（速報版）を参照ください。

■ サステナブル・ブランド国際会議とは

米国サステナブル・ライフ・メディア社（以下、「SLM 社」）が2006年から展開する国際会議で、13カ国14都市で開催（2019年度）され、来場者数はグローバルで1.3万人を超える規模となっています。国内では株式会社博展が米SLM社と提携し、2017年3月に初開催し、2021年2月24日現在、第5回目の開催中です。

正式名称	サステナブル・ブランド国際会議 2021 横浜
U R L	https://www.sustainablebrands.jp/event/sb2021/
開催日	2021年2月24日（水）・25日（木） ※2日間
会場	パシフィコ横浜 ノース（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）
テーマ	WE ARE REGENERATION
参加者数	3,800名（予定）
主催	株式会社博展／Sustainable Life Media, Inc.
同日開催	第3回未来まちづくりフォーラム 第2回全国SDGs未来都市ブランド会議、SB'21 ASIA-PACIFIC

以 上

▼ 本件に関するお問い合わせ先

<p><取材のご希望について> 株式会社 博展 経営企画部 担当：村松（むらまつ） Mail : sb-press@hakuten.co.jp</p> <p><個々の企業の詳細調査結果について> サステナブル ブランド ジャパン Mail : info@sustainablebrands.jp</p> <p>「SB 2021 YOKOHAMA」 特設サイト： https://www.sustainablebrands.jp/event/sb2021/ 「サステナブル・ブランド ジャパン」 サイト：https://www.sustainablebrands.jp</p>
--